



幌別川の魚道で魚を観察する参加者

魚に触れ、自然環境の大切さを学ぶ！

～子ども自然教室『幌別川と魚たち』～

10月17日(土)、ふおれすと鉾山主催の子ども自然教室『幌別川と魚たち』が開かれました。

この教室は、ふるさとの川にすむ魚に実際に触れ、その生態を体験的に学んでもらおうと開かれたもので、小学校高学年の12人が参加しました。

子どもたちは、集合場所の市民会館で魚をテーマにしたゲームを楽しんだ後、バスで登別川に移動。遡上するサケを川岸から観察しました。

幌別川の魚道付近では、子どもたちは川に入り、網でハナカジカやヤツメウナギの仲間をつかまえ、大喜び。水槽に集められた魚たちを観察しながらの講師の説明に、子どもたちは、魚の生態や川の自然環境の大切さをしっかりと学びました。



自分らしい生き方を学びました

～男女共同参画講演会～

11月1日(金)、市主催の男女共同参画講演会が、鉄南ふれあいセンターで開催され、市民160人が参加しました。



日本で初めて『男性学』を大学で開講した大阪大学大学院人間科学部教授・伊藤公雄さんを講師に『女性と男性のための“男性学入門”』と題して講演。伊藤教授は、現代社会の男性の生き方について、「男はこうあるべきだという鎧を着て、身構えた生活をしている」と指摘し、「自分らしい生き方、人間的な生活を送る方向への転換が重要になってくるのではないかと、熱く話してくれました。

ひょうきんなピエロに大笑い ～第6回親子文化祭～



11月10日(日)、市民会館で、第6回親子文化祭が開催されました。

この催しは、親子がふれあいながら文化の秋を体験してもらおうと、文化・スポーツ振興財団が毎年この時期に開催しているものです。

竹とんぼやフクロウ、たこなどを作る『親子おもしろ工作コーナー』をはじめ、紙芝居やマジックショー、人形劇『三匹の子豚』の上演などさまざまな催しが行われ、350人の親子が参加しました。

男女二人のピエロがパントマイムで演ずる風船ショーの回りにはたくさんの親子が集まり、ひょうきんな表情やしぐさで、風船をさまざまな形に変える演技を、興味深そうに見学していました。

日ごろの活動の成果を展示

～家庭教育学級作品展・市民会館サークル展～

市内幼稚園や小学校で活動している家庭教育学級による『家庭教育学級作品展』が11月6日(水)から10日(日)まで、市民会館で活動しているサークルによる『市民会館サークル展』が同月15日(金)から18日(月)まで、市民会館で開かれました。

文化の秋にちなみたくさんの行事が催される同館の廊下には、陶芸やツールペイント、パッチワークなど趣向をこらした作品が展示され、訪れた市民の目を楽しませていました。

